

## 支える会セミナー 感想



こころ温まるとてもいい講演会でした。

信じられないようで、現実の生活リズムなんですね。

お一人、お一人に関わって、しっかりと、日常生活をサポートされ、楽しそうに暮らしておられるご様子。守られている生活が、そこにはありました。

大阪では夢みたいなのが、横浜市の現実なんですね。

私の知り合いの方は、肺炎になり、入院も拒否されたという経験があります。この違いは何でしょう？医療と福祉と連動して施設が、存在するのは、大きな希望です。

行政への働きかけの仕方、医療面、福祉の勉強・・・その人材をどのようにしたらみつけれられるのか不思議な気がしました。一人、一人に関わる上での、気持ちが大切だと思いますが、笑顔で接しておられ、介護される側も、する側も全て笑顔だったのが印象的でした。

横浜市だから、出来た事だ！！とは、思わずに、負けん気を出して、大阪でもやってやろうじゃないの？と奮闘できるぐらいの根性を持ちたいと思いました。（F・S）

## 支える会セミナー開催

# 「私たちが求めたもの」

～「郷」開設の経緯とこれから～



社会福祉法人 訪問の家  
理事長 名里 晴美氏



平成25年1月26日（土）  
大阪市社会福祉研修・情報センター  
大会議室（大阪市西成区）

# OTK

# 支える

No.83

大阪府重症心身障害児・者を支える会  
全国重症心身障害児者を守る会  
大阪支部

## 支える会セミナー アンケート

### セミナーのご感想を一部紹介致します

- ◎ すごくよかったです。名里さんの姿勢が、落ち着かれたその声のトーン・語りの中からじわりと伝わってきました。どんどん大きな組織になってもちゃんとした意識や価値観を持っておられるところがすごいと思いました。（その他 居宅）
- ◎ 郷の立ち上げに至るお話を聞けて、大変参考になりました。名里さんは利用者さんの特徴や好きな事などをすべて知っていて、その方の個性を尊重しておられると思いました。私も今日のお話を聞いて頑張っていきたいと思います。（施設職員）
- ◎ お一人お一人を大切に關わって下さってること、本当にうれしく、そういう方たちがたくさんいてくれるのもすばらしい。人生が明るくなり、一日が楽しく過ごせるように思います。有難うございました。大阪にも、その場所、人材が欲しいです。（親・家族）
- ◎ ありがとうございます。朋には2回訪問させてもらい、お話も何回か聞いているのですが、重心の利用者の生活の場についてのお話を聞かせてもらい、横浜に住んでおられる重心の方はうらやましいなあーと思いつつ。多機能型拠点は、横浜に重心施設もあり、日中通所もある上での次への在宅生活支援の拠点であると思いました。北摂はそれぞれの市に医療的ケアの通所施設はありつつも、北摂に重心施設が1つ小さくてもいいのであり、その上で各市町村に郷のような診療所がついた、訪問介護のついたものがあれば理想と感じました。ありがとうございました。（施設職員）
- ◎ 市と協働して、施策を作っていったことが、結果、重心の人達にとって、地域に住みやすい環境になったと思い、とても参考になりました。私の住む神戸市もそうなれるよう保護者として頑張りたいと思います。ありがとうございます。（親・家族）
- ◎ 以前から一度、お話を伺う機会があれば、聞いてみたいと思っていた 横浜



次の頁につづく

親亡き後の生活の安心、障害者の高齢化・重度化への対応を横浜市では、「将来にわたるあんしん施策」として取り組んでいます。そのひとつに横浜市多機能型拠点というものが6カ所計画され、その第1号「郷」が昨年十月に開設されました。

多機能型拠点は医療的ケアを必要とする重症心身障害児等やその家族の地域での生活を支援するために、必要なサービスを一体的に提供する機能を持つ拠点です。主なサービスは、短期入所、日中一時支援、相談支援機能のほか、診療所を併設しています。また訪問看護、居宅介護等の外に向かう支援も行います。

その「郷」の運営をされることになった社会福祉法人「訪問の家」理事長の名里晴美さんに多機能型拠点「郷」の成り立ち、必要性についての講演をお願いしました。

寒い中、重症児者と関わりのある多くの方にお集りいただき、『私たちが求めたもの』『郷』開設の経緯とこれから』と題して講演いただきました。

まず、昭和六十年の社会福祉法人「訪問の家」認可までの背景、通所施設「朋」の設立、その後の展開をお話いただきました。

「朋」開設以降、レスパイト、診療所、地域活動ホーム、グループホームと地域の人たちとのふれあい、必要なものを産み出す、手がけることを続けて事業展開してこられました。医療的ケアの必要な人に対して

支援の行き詰まり感のある中、横浜市で将来にわたるあんしん施策による新たな取り組みによる多機能型拠点の整備が着手されました。「訪問の家」ではその第1号拠点「郷」を運営することになりました。

「郷」での実施事業は相談支援、居宅介護、送迎、訪問看護、診療所、地域交流事業、自主事業、短期入所、日中一時支援があります。

今年度は利用者・家族・地域の要請の実感・理解を深め、短期入所・日中一時支援の安定稼働、スタッフのスキルアップと連携を重点課題として取り組んでいきます。

重い障害のある人が地域で主体的に自分らしく生きることを大切にされている法人のあり方が感じとれる講演でした。

本人をよく知ってくれている医療者がそばにいる、日々の暮らしとつながっている場所でショートステイができる、多岐にわたるサービスが一方所で受けることができる、そんな居場所が身近になれば医療的ケアの必要な重症児者と家族は安心して住み慣れた街で暮らし続けることができるでしょう。理想に描いていたものが横浜市で進行しているのです。

大阪府では現在、重症心身障害児者の地域ケアシステムの構築にむけ検討がなされています。大阪府においても地域で自分らしく生きて行くためのシステムが構築されることを願っています。

### 守る会三原則

- ★決して争ってはいけません。争いの中に弱いもの生き残る場はない。
- ★親個人がいかなる主義主張があっても、重症児者運動に参加する者は党派を超え、最も弱いものを一人も無く守る。

#### 前の頁のつづき

本人の事を考え、動けるスタッフでありたいし、そんな職員達が、集まるような場所で働きたいと思ってきました。昨年、「朋」の見学に参加させて頂き、少しずつですが、「朋」に近づけていけたらなと思いました。まだまだ・・・今日もとても感動しました。又、明日からの仕事を頑張ろう！と思えました。有難うございました。「朋」のようなスタッフが色々な地域で育っていけばもっと住みやすくなるのだろう・・・と思います。そんな思いのあるスタッフの方々と何を大切にしているかなど、本人も交え共に、悩み考え、その利用して下さっている方々に対してを考えていけるようなスタッフでありたいと思いました。（その他 居宅）

◎ 息子を在宅で介護して17年。自分の体力のおとろえ、子供の障害の重度化など、年々、これから先どうなるのか、とても不安に感じるようになりました。今日、お話にあったように、本人が何を望んでいるのかなど、細かい変化にもアンテナをはって、気付いてくれる人々に囲まれながら、生活できる空間があるという事が本当にうらやましく思いました。医療が大切なのは当たり前ですが、親の立場としては、スタッフさんと信頼関係を築き、何が必要なかを一緒に考えようとする姿勢を感じられるような施設があることは、とても心強いものだと思います。自分が病気になるったり、亡くなった後も、息子が優しさに包まれながら、素敵笑顔でいられるような場所作りを親として真剣に考えていかないといけないと、改めて思いました。本当にあたたかい思いを感じられ、とてもうれしく思いました。（親・家族）



◎ とても想いの伝わる良い講演でした。私の働く法人でも、また事業を展開する堺市でも“多機能型拠点”施設を検討しています。行政側も計画には名称は出てきていますが、まだまだ具体的中身、運営方法等、市でも議論中であり、まだまだ絵に描いた餅の状態です。私どもの法人も、市内の他法人と共に議論、運動を行い、私達の思い描く“多機能型拠点”の絵を描き、市や議会に対しても働きかけているところです。“訪問の家”のこれまでの経過と今私達が歩んでいる経過が重なり合う気がして、とても勇気づけられ、今後すすむべき方向性のヒントを頂いた気がしました。また、おっしゃられたように、出発点は、その人の“想い”、“ねがい”であり、その為の医療であり、福祉であるはずですよね。“何を仕事にするのか”と常に確認し、振り返り、事業展開の重要性も改めて痛感しました。（施設職員）

## 「支える会」入会のご案内

大阪府重症心身障害児・者を支える会  
(全国重症心身障害児(者)を守る会の大阪支部)  
への入会についてご案内いたします。

- 【個人会員】 ◎年会費 8,400円  
本部発行「両親の集い」、本会発行「支える」購読料含む  
◎年会費 3,600円  
本会発行「支える」購読料含む
- 【法人・団体会員】 ◎年会費 10,000円(1口)  
本部発行「両親の集い」、本会発行「支える」購読料含む
- 【協力会員】 ◎年会費 3,000円(1口)(運営資金の協力会員)  
本会発行「支える」購読料含む

☆申込み・問い合わせは事務局までお願いします

#### 前の頁のつづき

「郷」のお話が聞いて良かったです。どの地域にも「郷」みたいな施設ができれば・・・と思います。（施設職員）

◎ 自治体やその土地柄によって違いはあるでしょうが、多機能型拠点「郷」の成り立ちが聞いて勉強になりました。利用者様の思いを引き出し、表現してもらえような介助者になりたいと改めて思います。（施設職員）



◎ 施設で支援員として働いています。訪問の家の利用者の方、1人1人を大切に、その人らしさをとても大事にされていることが伝わってきて、感動いたしました。今日のお話を胸に、これからも仕事に向きあっていきたいと思います。（施設職員）

◎ 今日はずごくいいお話で、来て良かったです。医療のケアのある人もケアハウスで暮らしている事を知り、びっくりしました。大阪でも”郷”のような家が出来たら本当にいいなあと思いました。（親・家族）

◎ 大変施策が進んでいることに驚いた。大阪市でなぜ、できないのか。頑張るところを間違っているのか、迷う。施設から地域へと福祉が進んでいる中でとりのこされていないか。地域へもっと積極的に出ないといけないと思うが、できていない。少しずつとは思うのだが。（親・家族）

◎ 横浜の行政とも連携して、これまでの実践が実を結びはじめたのだらうと思いますが、事業が広がればまた新たな課題が生まれると思います。頑張ってほしいとともに、私達も参考にしながら努力していきたいと思っています。（施設職員）

◎ 職員として改めて「考える」ことの大切さ、重要性を知らされました。何よりも重症心身障害者の「気持ち」を察するということが、医療がイニシアチブをとるのではなく、望みを叶えるための医療なんだという事は「全くそうだ」と思いました。その人らしく、その人の想いで、過ごせる場所を提供できるよう努力して参りたいと、あらためて、気を引き締めていく所存です。（施設職員）

◎ 行政と民間が共にすすめていく必要性を感じました。また、地域との連携、ボランティアとの幅広い分野での関わりが大切だと思いました（行政関係者）

◎ 本当に良かったです。豊中市も頑張っていきたいです。神経内科 Dr. の協力を模索しています。診療所の設置の必要性を感じています。ノウハウが知りたいです。（回答なし）

◎ 貴重な経験・実践を聞かせて頂き、ありがとうございました。“その人自身が自分の人生を切り拓き、築き上げていく”為に必要な資源を創り上げていく地道で着実な歩みの積み重ねに学ばせて頂きました。愛を（気持ち）込めて人と関わること、出会うこと、ふれあうこと・・・から全てが始まるのですね。（親・家族）

◎ 今日、名里さんのお話を楽しみに参加させて頂きました。本当に有難うございました。「朋」から「郷」までの経緯があって、今があるのは当然の事ですが、とても沢山のの方々、地域の方々との関わりなどを大切にしてくられたのもあるのだなあ～と感じました。でも、一番大切にされているのが、ご本人、という事そして、家族さんの事、「親亡き後、安心して託せる居場所」を作っていった事、すばらしいと思いました。以前、施設にいた私が、考えていけないといけないと考えさせられた件が、親が病気になる、本人はこだわりの強い新しい場面に慣れる事が困難な方がおられ、施設としては、日中と生活を一緒にする方が混乱すると受け入れない方向性でした。しかし、本人の事を考えると、「ど～なんだろう!!」から、居宅スタッフで対応すると押切、なんとかその場をしのぎました。その時に、こんなやり方ではなく、



次の頁につづく

# 大阪府重症心身障害児・者を支える会 20回 定期総会、交流会



平成**25**年**6**月**7**日（金）

会場 早川福祉会館 4F（ホール）

〒546-0033 大阪市東住吉区南田辺1-9-28

■最寄り駅

- ・地下鉄谷町線駒川中野下車、西へ徒歩10分
- ・地下鉄御堂筋線西田辺下車、東へ徒歩15分（市バスへ乗り継ぎできます）
- ・JR 阪和線南田辺下車、南東へ徒歩15分
- ・市バス東住吉区役所前下車すぐ



日程	10:00～	受付
	10:30～12:00	総会
	12:00～	交流会

## 交流会 ～みんなで語ろう～

テーマ 「子の想い、親の願い」

総会后引き続き（12:00より約一時間半位）

※ 軽食あり（参加費：300円）



発行所

大阪府障害者団体定期刊行物協会

〒530-0054

大阪市北区南森町二丁目二〇一五〇七

（会員の方は会費の中に含まれています）  
定価 五〇円

編集 責任者

（事務局）〒545-0021

大阪府大阪市阿倍野区阪南町五丁目二二八

育徳コミュニティセンター12F

TEL 06-6624-2555

FAX 06-6624-2556

運営委員長 山村 寿子

郵便振替口座 00930-9-69598

大阪府重症心身障害児・者を支える会



編集後記

厳しい寒さから一転して、桜の花  
がほころび、春がかけ足でやって来  
ました。

四月から障害者総合支援法が施行  
されます。

この法律が重い障害を持つ人々にとっ  
て生きやすい法律になりますように、  
私達は見守っていきたいと思います

編集委員 一同



## 第50回 重症心身障害児(者)を守る全国大会 (案) 香川県高松市にて開催

### 【大会概要】

- と き  
平成25年7月20日(土)～21日(日)
- と ころ  
式典等：サンポートホール高松  
〒760-0019 香川県高松市サンポート2-1  
TEL：087-825-5000  
  
懇親会：J R ホテルクレメント  
〒760-0011 香川県高松市浜ノ町1-1  
TEL：087-811-1111
- 主 催  
社会福祉法人  
全国重症心身障害児（者）を守る会  
全国重症心身障害児（者）を守る会  
香川県重症心身障害児（者）を守る会
- 参加者数  
約1,100名
- 参加費用  
参加費 3,000円、懇親会費 8,000円

### 6. 大会次第

[第1日目] 7月20日(土)  
受 付 12:00～13:00

行政説明 13:00～14:00

分科会 14:20～17:00  
《第1分科会》 国立施設部会  
《第2分科会》 重症児施設部会  
《第3分科会》 在宅部会  
《第4分科会》 母親部会

懇 親 会 18:00～20:00

[第2日目] 7月21日(日)  
みんなで語ろう 9:00～10:00  
式 典 10:30～12:00

- 申し込み先：「支える会」事務局  
※ 締切5月17日(金)
- 問い合わせ先：  
社会福祉法人  
全国重症心身障害児(者)を守る会 事務局  
TEL(03)3413-6781～3 FAX(03)3413-6919

## 会費納入のお願い

既に納入がお済みの方にはあしからずお許  
しを賜りますようお願い申し上げます。

<問い合わせ>  
TEL 06-6624-2555  
FAX 06-6624-2556

<郵便振替>  
00930-9-69598  
大阪府重症心身障害児・者を支える会



## 「支える会」事務局

〒545-0021  
大阪市阿倍野区阪南町5-15-28  
育徳コミュニティセンター2階  
大阪府重症心身障害児・者を支える会  
会長 山村 寿子  
TEL 06-6624-2555  
FAX 06-6624-2556  
<郵便振替> 00930-9-69598

## 支える会ホームページのご案内

ドメイン名 <http://www.sasaeru.or.jp/>  
メールアドレス [osaka@sasaeru.or.jp](mailto:osaka@sasaeru.or.jp)

◎様々な御意見・御質問や情報をメール  
や掲示板にお寄せ下さい。

全国・各地へリンクあり!

